環境側面に関する情報

化学物質排出量削減

■PRTR法への対応(富士フイルム及び国内関係会社)

PRTR法(化学物質管理促進法)で届出対象になっている物質以外に、一般社団法人日本化学工業協会が定めた自主管理物質を中心に、富士フイルムが自主的に管理対象とする物質を加え、排出量削減に取り組んでいます。富士フイルムと国内関係会社での使用量が1t/年以上の物質についての情報(使用量・大気排出量・公共用水域への排出量・下水への移動量・事業所外への移動量・リサイクル量)を下記のウェブサイトで開示しています。

URL http://www.fujifilm.co.jp/corporate/environment/preservation/site/atmosphere/prtr.html

■揮発性有機化合物(VOC)の大気排出量の推移

(単位:百t/年)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
日本	10.1	7.6	6.9	6.9	6.6
海外	1.8	1.9	1.9	2.1	1.9
グループ合計	**11.9**	**9.5**	**8.8**	**9.0**	**8.5**

■PCBを含む※機器などの保管・管理状況(2015年度)

PCBを含む機器などの区分	単位	保管・管理数量	
		日本	グループ合計
高圧トランス	台	20	34
高圧コンデンサー	台	298	388
廃PCB油など	kg	1,188	1,188
汚泥など	m^3	0.1	0.1
蛍光灯の安定器	台	14,658	15,202
蛍光灯以外の低圧コンデンサー	台	117,082	117,082
低圧トランス	台	1	1
ウエス	kg	911	911
その他機器	台	20	20

※微量PCBは含まず

URL http://www.fujifilm.co.jp/corporate/environment/preservation/site/pcb.html

■削減に取り組んだVOCと大気排出量の削減量※(富士フイルム単独)

物質区分	物質名	削減量(t)	前年度からの削減率(%)
PRTR法届出対象物質	ジクロロメタン	12	17
自主管理対象物質	メチルアルコール	16	7
	酢酸エチル	10	16
	メチルエチルケトン	−1	−5
	アセトン	−9	−51

※ 前年度実績に対する2015年度の削減量

汚染防止対策

■大気汚染物質排出量の推移

(単位:t/年)

		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
SOx排出量	日本	22	20	21	22	9
	海外	1	1	4	6	5
	グループ合計	**24**	**20**	**25**	**28**	**13**
NOx排出量	日本	459	376	416	394	424
	海外	40	66	74	61	69
	グループ合計	**500**	**442**	**490**	**455**	**493**
ばいじん排出量	日本	2.9	5.5	4.8	4.2	3.1
	海外	0.7	0.6	6.9	1.0	1.1
	グループ合計	**3.6**	**6.1**	**11.7**	**5.2**	**4.2**
特定フロン排出量※	CFC-11	0.10	0.20	0.00	0.21	0.21
	CFC-12	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00

※ グループ合計。なお測定下限値未満は0とした

■水質汚濁物質負荷・排出量※1の推移

(単位:t/年)

		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
COD※2負荷量	日本	93.2	85.0	85.2	82.3	82.1
	海外	21.7	24.4	31.3	57.0	67.3
	グループ合計	**115.0**	**109.5**	**116.5**	**139.4**	**149.4**
BOD※3負荷量	日本	46.7	43.6	43.3	38.3	37.1
	海外	6.2	2.9	1.6	10.1	16.6
	グループ合計	**52.8**	**46.5**	**45.0**	**48.3**	**53.7**
総窒素排出量	日本	254.5	259.0	246.5	223.3	232.3
総リン排出量	日本	5.2	2.5	3.4	5.3	4.2

※1 公共水域に排出した量
※2 COD(化学的酸素要求量):水の汚れを示す指標。水中の汚れ(主に有機性汚濁物質)が、酸化剤によって酸化されるときに消費される酸素の量を指す
※3 BOD(生物化学的酸素要求量):水の汚れの程度を表す尺度の一つで、汚れを分解する微生物がどのくらい水中の酸素を使ったかを指し、酸素の減った量で表す

■土壌・地下水汚染の調査と浄化
(富士フイルム及び国内関係会社と富士ゼロックス及び国内関係会社)

土壌・地下水汚染に関して自主的な環境調査を実施しています。生産事業所で使用され、環境基準値が定められている物質については、使用・在庫管理及び排水管理、地下水の定期的なモニタリングを実施し、不測の事態に迅速な対応がとれる管理を行っています。

URL http://www.fujifilm.co.jp/corporate/environment/preservation/site/leakage/
URL http://www.fujixerox.co.jp/company/csr/stakeholder/environment/target.html

法規制への対応

■2015年度の環境関連の法規制に対する順守状況とクレーム

2015年度の環境関連の法令違反は3件(うち海外3件)、クレームは9件(うち海外0件)、事故は3件(うち海外は3件)でした。法令違反の事例は主に行政立入時に文書管理の改善指摘を受けたものでした。

	日本	海外	グループ合計
法令違反件数(内 対応済み件数)	0(0)	3(3)	3(3)
クレーム件数(内 対応済み件数)	9(9)	0(0)	9(9)
事故件数(内 対応済み件数)	0(0)	3(3)	3(3)

■2015年度の環境関連の法令違反・クレーム内容とその対応※

会社・事業署名	内容	対応
FUJIFILM Hunt Chemicals U.S.A., Inc.	廃棄物の管理文書不足	有害廃棄物の保管管理、廃棄物最小化の計画が適切に文書化されていないとの指摘を受け、文書を改訂。
FUJIFILM Speciality Ink Systems Limited	容器破損による防液堤へのラテックス漏洩	ラテックスの容器にフォークリフトが接触し漏洩。ラテックスは防液堤内で止まった。公共へのダメージはなし。フォークリフトの通行路整備を実施。
FUJIFILM BELGIUM NV.	排水中の総窒素量オーバー	フィルターメンブレンの老朽化によるもの。至急交換し、対応した。

※ 比較的軽微なものを除く